



認定資格
受験者ハンドブック



Bukkie Adewuyi
CIA, CCSA, CRMA

目次

目次.....	1
はじめに.....	4
ステップ 1	6
資格認定要件.....	6
認定資格受験者管理システム (CCMS) によるプロフィールの作成.....	6
受験申込および支払い方法.....	7
提出書類のアップロード.....	Error! Bookmark not defined.
身分証明書.....	7
学歴の証明.....	8
特別な設備.....	8
資格認定プログラムの有効期限延長.....	8
特別な事情による有効期限の延長.....	9
ステップ 2	10
受験料の支払い.....	10
試験の予約.....	10
試験の有効期限延長.....	11
予約の確認.....	11
試験予約の不成立.....	12
試験予約の変更.....	12
試験.....	12
試験の開始前.....	13
試験の開始.....	13
試験結果の受領.....	Error! Bookmark not defined.
再試験.....	15
ステップ 3	16
実務経験の証明手続き.....	16
認定の通知.....	16
ステップ 4	17
認定状の表示.....	17
資格の公開登録.....	18
ソーシャルバッジ.....	18
別表 A	19
違反および不正行為.....	20
違反の報告.....	21
違反の結果.....	21
違反および罰則に関する通知.....	22
受験者の異議申し立ておよび異議申し立ての手続き.....	22
別表 B	23

別表 C	25
別表 D	27
Internal Audit Practitioner® (IAP®) 認定要件	27
公認内部監査人® (CIA®) 認定要件	28
公認リスク管理監査人® (CRMA®) 認定要件	29

本ハンドブックでは、IIA の公認内部監査人® (CIA®)、公認リスク管理監査人® (CRMA®)、Internal Audit Practitioner® (IAP®) の資格認定プログラムに適用される規則、要件、試験およびセキュリティポリシー、その他の手続きなどについてご説明します。

本ハンドブックをよくお読みいただき、IIA の認定制度の諸要件についてご理解ください。本ハンドブックでは、受験手続きの開始から資格認定までの各課程における役立つヒントを提供します。

資格認定までのステップ：

ステップ1 - 受験の申込

ステップ2 - 試験

ステップ3 - 認定の手続き

ステップ4 - 資格の更新

※注：本ハンドブックは元々英語で作成されました。一部のセクションは AI によって翻訳されており、人間のレビューによって校正されています。翻訳版と公式の英語版との間に相違点が見つかった場合は、certifications@theiia.org までご報告ください。英語版が正式な情報源となります。

はじめに

内部監査人協会（IIA）は、公認内部監査人®（CIA®）、公認リスク管理監査人®（CRMA®）、および Internal Audit Practitioner®（IAP®）の資格を提供しております。IIA 認定資格試験は複数の言語で実施されています。詳細については [IIA のウェブサイト](#) にてご確認ください。



公認内部監査人® (CIA®)

CIA は、世界的に認知された唯一の内部監査の認定資格です。CIA を取得することは、世界中のどの地域においても、内部監査専門職としての責務を効果的に遂行するために必要な知識、スキル、能力を示す最適な方法です。



公認リスク管理監査人® (CRMA®)

CRMA は、内部監査人のための唯一のリスク・マネジメント認定資格です。CRMA は、戦略的リスクに焦点を当て、主要なビジネスプロセスのリスクアシュアランスを通じて組織体の価値を確実に高め、リスクとリスク・マネジメントの概念について経営陣や監査委員会等を啓発する能力を証明します。



Internal Audit Practitioner® (IAP®) **（日本内部監査協会による受付業務は終了しました）**

The Internal Audit Practitioner program は、新任内部監査人が監査実務の第一歩を踏み出すにあたり、内部監査人としての適性を最短で示すための有効な手段です。

認定プロセス、受験料および課税等については、IIA の国別代表機関との合意に基づき、国や地域によって内容が異なる場合があります。例えば、南アフリカの居住者は、資格認定プログラムに申込み前提要件として、IIA 南アフリカの会員である必要があります。同様に、イギリスまたはアイルランドの居住者は、資格認定プログラムに申込み前提要件として、IIA イギリスおよびアイルランドの会員である必要があります。以下の国々の居住者は、各国の IIA 国別代表機関のウェブサイトを参照するか、または IIA 国別代表機関の事務局に直接お問合わせください：

ベルギー

ブラジル

チェコ

韓国

日本

インドネシア

警告：すべての販売は最終的なものであり、返金および譲渡はできません。認定候補者管理システム（CCMS）を通じて提示された価格に誤りがあると思われる場合は、取引を完了しないでください。その代わりに、CCMS のヘルプより新規案件を開いて登録してください。認定管理担当者からご連絡いたします。

登録料および受験料の会員割引を受けるには、申請する前に会員登録の手続きを完了している必要があります。会員資格の状況については、お住いの地域の IIA 支部（または、勤務先が IIA 監査グループの会員であるかどうかについては監査グループコーディネーター）までお問い合わせください。

認定資格を取得し、維持するためには、申請、全試験科目の受験および合格、実務経験の証明、そして年次更新という 4 つの主要なステップがあります。IIA の CCMS が、これらのプロセスをサポートします。

ステップ 1

受験の申込

資格認定要件

資格認定されるためには、申込から認定までのすべての諸要件を満たさなければなりません。また、試験の秘密保持および IIA の倫理綱要を遵守する必要があります。

認定要件についてご理解いただき、資格認定プログラムの諸要件を確実に満たすことについて、同意いただく必要があります。受験申込をされる際は、秘密保持および IIA の倫理綱要を順守すること、また本ハンドブックに記載の申込対象資格認定プログラムの諸要件をすべてご確認いただいたことを示す必要があります。各プログラムの認定要件は別表 D をご参照ください。

認定資格受験者管理システム（CCMS）によるプロフィールの作成

すべての受験者は、CCMS でプロフィールを作成し、IIA のグローバルアカウント番号を保有していなければなりません。IIA のグローバルアカウント番号により、資格認定プログラムの申込や、IIA 会員の登録、各種イベントの登録、求人欄の閲覧や申込、および各種製品の購入などが行えます。CCMS では容易に新規のグローバルアカウント番号およびプロフィールを作成することができ、費用もかかりません。

CCMS にプロフィールが登録されており、一定期間ログインしていない場合は、登録内容が最新であることをご確認ください。CCMS のパスワードをお忘れの場合は、CCMS のサインインページからパスワードをリセットすることができます。

[CCMS](#) にアクセスして、ご自身のグローバルアカウント番号およびプロフィールをご確認いただくか、未登録の方は新規作成をおこなってください。動作に問題等がある場合は、日本内部監査協会 国際・資格課 (cia-mailassistance@iiajapan.com) までお問い合わせください。

受験申込および支払い方法

日本にお住まいの方は、日本内部監査協会にて所定の受験申込手続きを行ってください。支払いは、日本内部監査協会のウェブサイト内でクレジットカード、または振込にて行うことができます。支払い後、7～21 営業日以内にメール添付にて領収書をお送りします。

支払い手続きが完了すると、初期登録の手続きを開始いただけます。この手続きは CCMS で手続き可能な状態になってから 90 日以内に完了する必要があります。画面の指示に従って、初期登録の手続きを行ってください。

受験料と登録料の会員割引を受けるには、受験申込を行う前に、入会手続きを完了し、CCMS のアカウントに会員であることが表示されている必要があります。適宜、日本内部監査協会にて、入会状況をご確認ください。

必要書類をアップロードしてください

IIA が、あなたが選択した認定プログラムの入学要件を満たしていることを確認するためには、必要書類を提出する必要があります。

身分証明書

身分証明書は、IIA 資格認定プログラムのすべてに求められる要件です。身分証明書は、提出された時点で有効なものでなければなりません。以下の表は、受付可能な形式とそうでない場合を示しています。

受付可能な身分証明書の形式	受付できない身分証明書の形式
政府発行の運転免許証	社員証または社章
パスポート	大学の学生証
軍人身分証明書	健康保険証

外国人登録証（グリーンカード、永住ビザ等）	自撮り写真または無記名の写真付き身分証明書
政府発行の身分証明書 （受験国にて正式に発効された写真・署名付きプラスチックカード）	失効した写真付き身分証明書

受験時にはテストセンターの受付にて身分証明書の提示が求められます。テストセンターにて提示する身分証明書は、CCMS プロファイルの情報と一致していなければなりません。（CCMS の氏名が英語で登録されている場合、日本国内での受験に関しては身分証明書の氏名表記が日本語であっても問題ありません）CCMS に登録されている氏名表記を修正する場合は、日本内部監査協会 国際・資格課（cia-mailassistance@iiajapan.com）までお問い合わせください。身分を偽ったり、他人になりすましたりしたりすることは、重大な違反行為となり、IIA 資格認定プログラムへ申込みことが永久にできなくなります。

学歴の証明

資格認定プログラムが学歴を証明する書類を要求した場合、CCMS を通じて以下のいずれかを提出してください：

- 卒業証明書または成績証明書（学位取得以降に姓が変更された場合は、氏名変更を示す証拠書類も提出いただく必要があります。）
- 学位記または卒業証書
- 評価サービス機関からの証明書

特別な設備

IIA は、テストセンターにおいて特別な設備を必要とされる障がいをお持ちの受験者に対して、法令に則り相応の設備を提供します。

特別な設備が必要な場合は、IIA 資格認定プログラムの初期登録時に表示されます「特別な設備」で申請してください。申請書の必要項目にご記入の上、その他の関連する添付資料と併せて提出してください。ご不明な点がございましたら、日本内部監査協会 国際・資格課（cia-mailassistance@iiajapan.com）までお問い合わせください。

資格認定プログラムの有効期限延長

申込まれた資格認定プログラムが承認されると、1 回限りの 1 年間の延長手続きをおこなわない限り、プログラムの有効期限までにすべての認定要件を満たさなければなりません。プログラムの有効期限を延長する場合は、プログラムの有効期限が失効

する前に CCMS でプログラムの延長手続きを完了する必要があります。受験の途中でプログラムの有効期限が失効した場合、再度資格認定プログラムに申し込むことはできませんが、前回のプログラムで合格したパート試験も再受験する必要があります。

特別な事情による有効期限の延長

特別な事情（例：病気、妊産婦、親族の死亡、紛争、自然災害、徴兵など）がある受験者には、資格認定プログラムまたは各パート試験の有効期限が1回だけ延長される場合があります。上記に該当する受験者は、CCMS を通じて状況を客観的に証明する書類を提出してください。申請内容を審査した上で次の手続きについてご案内いたします。上記延長に関するすべての申請には、根拠となる資料の提出が必要です。

ステップ 2

試験

試験登録と受験予約をおこなうには、必要な手続きを完了し、資格認定プログラムの承認を得る必要があります。

受験料の支払い

IIA の受験料に関する支払いの方針は、以下の通りです：

- 料金が正しくないと思われた場合は、支払いの手続きを止めて、日本内部監査協会 国際・資格課（cia-mailassistance@iiajapan.com）までご連絡ください。
- 受験料の支払いが完了すると、返金はできませんのでご注意ください。
- 支払いが完了した受験料を別の料金に振り替えることはできませんのでご注意ください。

IIA とピアソン VUE

IIA は、ピアソン VUE と認定資格試験実施の委託契約をしています。ピアソン VUE は世界各地にテストセンターを保有し、さまざまな言語によるコンピュータベースの試験を提供しています。同社が技術投資する先進的なセキュリティにより、IIA 認定資格試験の受験者へのサービスを向上させています。

支払い手続きが完了すると、IIA 国際本部より受付完了のメールが送信されますので、メールを受信しましたら、試験の登録を行ってください。なお、IIA 国際本部よりメールが送信されましたら 180 日の有効期限が自動的に開始されますが、プログラムの有効期限の残存日と比較していずれか短いほうが受験有効期限として設定されますのでご注意ください。（プログラムの有効期限を越えると受験することができません）

試験の予約

ピアソン VUE のテストセンターの営業時間は会場により異なります。多くの会場は、週に 5 ～ 6 日ほど運営しています。（地域により異なります）できるだけ早く試験を予約することをお勧めします。早めに予約をおこなうことで、希望の日時や会場を選びやすくなります。当日の予約は受付けておりませんのでご注意ください。

ピアソン VUE のカスタマーサービスにて試験予約を承ることも可能です。

- [ピアソン VUE のカスタマーサービスウェブページ](#)にて、近隣のカスタマーサービスの電話番号をご確認ください。多くのカスタマーサービスでは、お客様の便宜のためにフリーダイヤル番号を設定しております。
- あらかじめ[ピアソン VUE のウェブサイト](#)より、ご希望の会場をお選びください。
- あらかじめ第一希望、第二希望、第三希望の日時をご準備ください。
- ピアソン VUE カスタマーサービスの担当者に IIA 受験者 ID（グローバルアカウント番号）をお伝えください。

注意：テストセンターで試験の予約やキャンセルを直接行うことはできません。ピアソン VUE カスタマーサービスの担当者のみ対応が可能です。

試験の有効期限延長

IIA 国際本部よりメールが送信されましたら 180 日の有効期限が自動的に開始されますが、資格認定プログラムの有効期限の残存日と比較していずれか短いほうが有効期限として設定されます。有効期限内に受験されなかった場合は試験の登録は無効となります。（支払済の受験料は返金されません。受験するには再度受験料を支払う必要がございます。）

ご希望の場合は、[CCMS](#) を通じて試験の有効期限を一回だけ延長することができます。その際は延長料金が発生します。この延長により、試験の有効期限を 75 日（プログラムの有効期限内のいずれか短いほうに対して）延長することが可能です。試験の延長は、プログラムの有効期限以降に設定することはできませんのでご注意ください。

予約の確認

試験の予約が完了すると、ピアソン VUE よりテストセンターの住所情報を含む予約確認がメールで送信されます。ピアソン VUE から予約確認のメールが届かない場合は、予約が適切におこなわれていない可能性があるため、直ちに[ピアソン VUE のカスタマーサービス](#)にご連絡ください。

試験予約の不成立

試験の予約が確定しましたら、試験当日に政府発行の有効な身分証明書を受付にて提示できるよう、あらかじめご準備ください。当日、予約したテストセンターで受験しなかった場合、「No-Show」と記録され、支払済みの受験料は無効となり、返金されません。その場合は、再度受験料を支払い、予約の手続きを行う必要がございます。

試験予約の変更

試験予約の変更を希望する場合、[CCMS](#)、または[ピアソン VUE のカスタマーサービス](#)にて、試験予約のキャンセルや予約の変更を行うことが可能です。但し、試験を予約した日時の 48 時間前までに変更を完了する必要がございます。なお、試験予約の変更の際は、都度 US\$75 の変更手数料（税別／ピアソン VUE への直接支払い）を支払う必要がございます。試験予約が確定すると予約確認のメールがピアソン VUE より送信されます。メールが届かない場合は、直ちに[ピアソン VUE カスタマーサービス](#)に連絡し、試験の予約状況をご確認ください。

中華人民共和国の志願者への注意：中国では、受験予約の変更に必要なタイミングと関連料金が異なります。すべての変更は、受験予約が確定した試験開始時間の 48 時間前までに完了してください。

試験

IIA では、試験の当日までにコンピュータベーステスト（CBT）の基本情報について確認することを強く推奨しております。CBT に関するチュートリアルを [IIA のウェブサイト](#)よりご確認ください。このチュートリアルは会場ではご利用いただけませんのでご注意ください。

試験の当日は、予約時間の 30 分前までに会場へお越しください。予約時間の 30 分前を過ぎて会場に到着した場合、「欠席（No-show）」となる場合があります。また、予約時間を過ぎて到着した場合も「欠席（No-Show）」扱いとなり、受験することはできません。

受付にて政府発行の写真付き身分証明書を提示ください。身分証明書は、申込時に提出した内容と整合している必要があります。テストセンターによっては、指紋または静脈認証の手続きを求められる場合があります。

注意：テストセンターでの受付時に有効な身分証明書を提示しなかった場合、受験が認められず「欠席（No-Show）」とみなされます。その場合、返金はできませんのでご注意ください。提示する身分証明書には、CCMS に登録した氏名が正確に記載されている必要があります。

テストセンターから受験者に何らかの費用を直接請求することはありません（ただし、法令により税金が徴収される国は例外）。万が一、テストセンターから何らかの請求があった場合は、[ピアソン VUE のカスタマーサービス](#)にご連絡ください。

会場での受付手続きの詳細については、[IIA のウェブサイト](#) をご覧ください。ピアソン VUE での手続きに関するビデオをご覧ください。

試験の開始前

テストセンターで受付の手続きを完了すると、会場の担当者が、試験室にご案内します（一旦入室すると正式に退出が認められない限り、試験室から出ることはできません）。試験室に入室した際、会場の担当者が、試験開始のログインを行います。画面に表示されている試験が、受験予定の試験であることを必ず確認してください。

試験を開始する前に IIA の秘密保持契約（NDA）ならびに一般利用規約への合意を求められます。（秘密保持契約ならびに一般利用規約については [別表 C](#) を参照ください）秘密保持契約に同意しない場合、受験が許可されず、支払った受験料も返金されません。

試験を開始する前に表示されるこれらの初期画面は、受験時間にはカウントされません。但しこれらの初期画面には制限時間があり、制限時間を超えた場合は自動的に試験が開始されますのであらかじめご了承ください。

試験の開始

PC の画面には、試験の進行に応じて残り時間を示すタイマーが表示されます。すべての設問に解答するための十分な時間を確保できるよう、時間配分にご確認ください。不正解によるペナルティはございません。

試験中、休憩時間は設定されておりません。ご希望の場合、休憩時間をとることは可能ですが、休憩している間も試験時間は進みます。何らかの理由で試験室を退出され

予期せぬ事由による会場の閉鎖
予約した会場が試験当日に閉鎖した場合、または利用できない場合は、ピアソン VUE より受験者に連絡をいたします。但し、天候不順などの予期せぬ事情により、受験予定日に会場が営業しているか不明な場合は、直接会場にご確認ください。会場が営業している場合、予定通り受験いただく事は受験者の責務となります。会場の事情により閉鎖された場合、手数料等を支払うことなく、予約を変更いただけます。

た場合は、会場の書類にサインをし、再入室時に身分証明書を提示する必要があります。指紋または静脈認証の手続きを求められる場合もございます。

会場に連絡できない場合は、[ピアソン VUE のカスタマーサービス](#)にご連絡ください。

IIAおよびピアソンVUEでは、試験のセキュリティや受験者への対応に配慮しています。会場の担当者は、試験中に異常な行動や状況を監視するためのトレーニングを受け、リアルタイムでの監視は、試験中の音声とビデオ記録によって強化されています。試験セキュリティおよび不正行為等に関する詳細については、[別表A](#)をご参照ください。

PC に不具合が生じた場合は、直ちに会場の担当者に報告し、状況を記録してもらってください。試験内容や得点について、会場の担当者に尋ねることは控えてください。会場の担当者は、試験内容や得点についての情報を共有しておりません。受験過程で何か懸念がある場合は、[ピアソン VUE のカスタマーサービス](#)にご連絡ください。

試験を終了、または試験時間が終了した場合は、画面上に受験終了と表示されます。提供された備品（ノートボード、ドライ消しマーカーなど）を返却し、私物を受け取ってご退出ください。

スコアの受け取り方

スコア算出の対象となる各試験問題は、統計的な妥当性を確保するために事前テストが行われています。正答数は、正解数に基づいて算出され、250 点から 750 点の範囲で評価されます。IIA 試験に合格するには 600 点以上が必要ですが、試験に合格した場合、スコアレポートには合格のみ表示され、点数は表示されません。不合格の場合は、スコアレポートに点数と改善が必要なシラバス領域の一覧が表示されます。

試験の記録は CCMS 上で更新され、CCMS に登録されているメールアドレスに通知が送信されます。スコアレポートは、CCMS 上で直接確認することはできません。CCMS 上は、試験の合否のみが表示されます。スコアレポートを取得するには、CCMS にログインし、メニューバーに表示されている「Pearson VUE へのアクセス」を選択した後、「スコアレポートを表示」を選択してください。

IIA が試験結果に対してさらなる分析が必要であると判断した場合、試験記録の更新が遅れる可能性があり、その際はメールで通知されます。分析には 4～6 週間かかる場合があります。また、IIA は、不正行為、スコアの異常、および／または IIA が定める試験規則、セキュリティポリシー、その他の認定要件または条件への違反が疑われる場合、いつでも受験者の試験または試験結

果を無効、保留、および／または取り消す絶対的な権利を留保します。試験のセキュリティ、違反に対する罰則、および受験者の異議申し立てと異議申し立ての手続きに関する詳細については、本ハンドブックの付録 A を参照してください。

再試験

IIA の再受験に関する方針では、資格認定プログラムの有効期間中に受験できる回数をパート毎に最大 8 回までとしております。

再受験の場合、前回受験した翌日から 30 日以上空けてください。再受験をされる場合、受験料の支払いを含め、新たに受験申込の手続きを行ってください。資格認定プログラムの有効期間内に、すべての認定要件を満たさなかった場合は、支払われた費用および合格したパートは無効化されます。

資格認定プログラムの有効期間内は、合格したパートの再受験を行うことはできません。合格したパートの再受験を希望する場合は、資格認定プログラムの有効期限が失効した後、前回受験した日の翌日から 30 日以上空ける必要があります。

ステップ 3

認定の手続き

実務経験の証明は、認定されるための必須要件です。資格認定プログラムの登録が完了した後、実務経験の証明手続きをいつでも行うことができますが、全パート試験に合格された後、資格認定されるためには実務経験の証明手続きを完了している必要があります。

実務経験の証明手続き

全パート試験に合格されても、実務経験の証明内容が IIA によって承認されるまでは認定されません。CCMS では、オンラインによる実務経験証明手続きを行います。

認定の通知

資格認定に関するすべての資格認定プログラムの要件を満たすと CCMS に登録されたメールアドレス宛に通知が送信されます。その後、CCMS より認定状を入手いただけます。さらに希望される場合は、氏名と認定番号が IIA の [公開登録 \(The IIA Certification Registry\)](#) に登録されます。

私は公認内部監査人です。



ステップ 4

資格の更新

資格を維持するためには、IIA の [継続的教育制度基本方針](#) に従って、毎年 12 月 31 日までに、必要な CPE 単位（2 時間の倫理研修を含む）を取得し、更に報告する必要があります。

報告期限までに CPE の要件を満たせなかった場合、自動的にステータスが「猶予期間（資格停止）」となります。その場合、要件を満たすまで称号を使用することはできません。また、「猶予期間（資格停止）」から 2 年以上経過した場合、資格のステータスが「取り消し」となり、資格を「有効」にするためには再認定の手続きが必要となります。

「取り消し」となった場合、名刺等への称号の記載や資格保持者として名乗ることができなくなります。再び称号を使用する場合は、再認定の手続きを行う必要があります：

- IAP プログラム：CIA パート 1 試験に合格する必要があります。
- CIA プログラム：CIA パート 1 試験に合格する必要があります。
- CRMA プログラム：CRMA 試験に合格する必要があります。

毎年、IIA は CPE の報告を完了したすべての資格保持者から無作為に抽出し、IIA の CPE ポリシーへの適合を確認する CPE 監査を実施します。監査対象に選ばれた場合、報告した CPE に関する証跡類の提出が求められます。要件が満たされなかったと判断された場合、資格は永久に「取り消し」となります。

認定状の表示

資格のステータスが「有効」な方は、PDF 形式の認定状を CCMS より入手いただけます。（印刷された認定状をご希望の場合、有料で申し込むことができます） [IIA フレームストア](#) には、認定状を表示するいくつかのオプションがあり、カスタマイズが可能です。

資格の公開登録

認定状に加えて、[保有資格の公開登録](#)にお申込みいただく事が可能です。保有資格の公開登録は、IIA 認定資格の取得者が継続的教育制度（CPE）の要件を維持しており、保有資格の有効性を証明、公開する最新的手法です。また、公開登録をすることにより、雇用主や求人企業等に対し、資格保有を証明する機会にもなります。任意で公開を選択した IIA の資格保持者はすべて公開登録に設定されます。資格保持者で公開登録を希望する場合はオプトインする必要があります。資格のステータスが「有効」でない方は、資格の公開登録をすることができません。

IIA では資格保持者に対して証明書を別途発行することはありません。対外的な証明を希望される方は、保有資格の公開登録を行ってください。

ソーシャルバッジ

また、ソーシャルネットワーク、プロフェッショナル・ネットワーク・サイト、個人ウェブサイト、またはウェブ対応の認定バッジ付きメールで、資格保持を伝えることもできます。詳しくは、IIA の[ソーシャルバッジのウェブページ](#)をご参照ください。

認定に関するお問い合わせは、CCMS の「ヘルプ」よりご連絡ください。



別表 A

試験のセキュリティ

IIA とピアソン VUE は、資格認定の価値と信頼性を維持するために試験セキュリティを重要視しています。IIA 試験の内容は機密情報であり、試験内容の共有や公表、アップロードなどの行為は厳禁です。

設定されているセキュリティ機能および手続きには、不正を示す可能性のある不規則なテストパターンを識別し、疑わしい行為を迅速かつ積極的に検知するための継続的なフォレンジック調査が含まれています。IIA は、資格のセキュリティおよび品質を維持するために、IIA の裁量により、受験者の再受験までの間隔を延期、試験を完全に中止またはキャンセルする場合があります。

IIA ポリシーは、必要に応じて適時、更新または変更されます。

試験セキュリティ・プログラムに含まれるセキュリティ対策の一部をご紹介します。（これらがすべてを網羅しているわけではありません）：

- 試験の教材および内容は IIA の機密情報であり、著作権で保護された知的財産です。
- 受験資格のある受験者のみが試験を受けることができます。
- 試験は監督員の指示によって行われます。
- 試験の不規則且つ異常なパターンを特定するために、継続的に強化されたフォレンジックによる分析を実施しています。

これには以下の内容が含まれます：

- 異常な解答パターン
- 試験における一貫性のない成績
- 他の受験者との解答の類似性
- 故意または過失による試験内容の暴露の疑い
- 受験者同士の共謀
- ソーシャルメディアの監視と Web クローリングにより、無許可の試験問題サイトや、個人または企業が報酬と引き換えに受験者に代わって受験する代理試験サービスを特定します。
- 寄せられた通報や報告の調査。
- IIA の試験は、米国およびその他の国の法律によって保護されています。

セキュリティ保護の対策には、不正行為の可能性のある異常なパターンを特定し、疑わしい行動を迅速かつ確実に特定するためのフォレンジック分析が含まれています。IIA は、試験、試験教材、および資格認定プログラムの安全性と機密性を保護し、維持するために、不正行為やその他の不正行為の疑いがある場合、若しくは受験者が IIA の規則、ポリシー、手順に違反した場合、

受験者の資格認定に関してあらゆる措置を講じる絶対的な権利を保有します。IIA が受験者の資格認定に関して講じる可能性のある措置には、試験および試験スコアのキャンセル、保留、若しくは試験の無効化、再受験の要求、再受験または受験資格の一時的な停止、資格認定プログラムへの永続的な参加の禁止が含まれますが、これらに限定されません。

受験者の責任

受験者は、受験勉強、受験準備、そして受験において、高い倫理的行動を示すことが求められます。受験者は、IIA の秘密保持契約、一般利用規約、および本ハンドブックに記載されているすべてのポリシーに同意するものとします。すべての受験者は、CCMS のサポートケースを通じて、不正行為の疑いの有無を問わず、すべての事例を報告することにより、試験のセキュリティ確保に協力することが求められます。これには、評判の悪い試験対策機関の報告も含まれます。この期待は、ボランティア、会員、そして認定資格保有者にも適用されます。

違反および不正行為

いかなる場合においても、IIA の試験問題を無許可で所持、複製、出版、開示することは固く禁止されており、これらの行為を行った事実が判明した場合、資格の剥奪、または譴責措置の対象となる場合があります。次に対象となる事例をご紹介します：

- 虚偽、矛盾、誤解を招くような記述や IIA が要求する情報を省略すること。
- 改ざんまたは偽造した学歴または身分証明書類を提出すること。
- 申請時に虚偽、矛盾、または誤解を招くような情報を提示すること。
- 偽造した成績証明書を提出すること。
- 2 つ以上の CCMS（認定資格受験者管理システム）のアカウントを作成すること。
- 代わりに受験する、または代わりに受験してもらうこと（替え玉受験）。
- 試験の内容について第三者と話し合うこと。
- 受験の準備段階（不正に入手した資料を含むブレインダンプソースの使用など）または受験中における試験資料の使用、コピー、共有、またはその他の不正行為。
- 資格認定または試験資料へのアクセス権を取得すること。
- スコアの異常値やフォレンジック分析によって不正行為と判断されること。
- 試験資料を盗むこと。
- 試験会場へ禁止されている物品を持ち込むこと。
- 試験会場の職員の指示に従わないこと。
- IIA が定める試験のセキュリティポリシー、規則、または要件に違反すること。
- 秘密保持契約および一般利用規約に違反すること。

- ピアソン VUE の試験予約またはテストセンターの規則や規制に違反すること。
- 上記のいずれかの行為を試みること。

試験のセキュリティに関する詳細情報については、IIA の [試験セキュリティ・web ページ](#) をご覧ください。

違反の報告

受験者、ボランティア、会員、認定資格保持者、そして一般の方々を含むすべての人が、IIA の試験情報と知的財産の機密性を維持し、保護する役割を担っています。IIA の試験内容に関連して、試験会場で異常な行為、または不適切な行為を目撃した場合、IIA 認定資格試験の問題と解答の販売の申し出や広告を受け取った場合や知った場合、試験のセキュリティに関してご質問、ご意見、ご懸念がある場合は、CCMS のヘルプ、または ethics@theiia.org より情報をご提供ください。

違反の結果

IIA の試験は機密性とセキュリティが確保されており、米国およびその他の国の民法および刑法によって保護されています。試験当日または試験日後に IIA が違反または不正行為を発見した場合、IIA は受験者の試験スコアを保留、取り消し、または無効化し、認定資格の一時停止または永久追放を行う場合があります。IIA が試験スコアの有効性に疑問を抱く可能性のある不正行為には、以下が含まれますが、これらに限定されません：

- 意図的、または偶発的に試験内容に接触した可能性のある疑い。
- 異常な解答パターン。
- 異常なスコアの変化。
- 試験の様々な場面における一貫性を欠く動き。

IIA は、不正行為、不規則行為、または IIA の試験セキュリティ規則、ポリシー、および要件への違反の疑いがあるすべての事例を調査します。IIA は、IIA の判断により、いかなる理由においてもスコアの有効性に疑問を抱く正当な根拠がある場合、該当する受験者に対してあらゆる措置を講じる権利を有します。IIA は、法律で認められる範囲において、受験者に対して追加の措置を講じる場合があります。

違反および罰則に関する通知

受験者が試験で不正行為を行った場合、あるいは認定のルール、ポリシー、手順、条件に違反したことが判明した場合、IIA は当該受験者に対して違反の内容と罰則の内容および決定について電子メールで通知します。

受験者の異議申し立ておよび異議申し立ての手続き

受験者は、IIA からの違反による罰則の決定に対して異議申し立てを行うことができます。ただし、以下に掲げるポリシーへの違反については異議申し立てを行うことができません：

1. IIA がスコアの有効性を判断するために定めた基準値を超え、フォレンジック分析によって発見された異常値によるスコアの無効化
2. 監視カメラで確認された不正行為
3. 第三者に対する受験のサポートや受験の依頼、替え玉受験、試験の情報を共有または開示すること

受験者は、資格停止処分または永久追放処分の決定に対して異議申し立ての権利を行使する場合、IIA が受験者に通知を発行した日から 14 日以内に、CCMS のヘルプより異議申し立てのリクエストを提出する必要があります。14 日を過ぎて異議申し立てのリクエストを提出した場合、検討、審査、承認はされません。

受験者による異議申し立てには、異議申し立ての理由と根拠を示す説明と説明を裏付ける証拠が含まれている必要があります。そのため、証拠類をあわせて提出することをお勧めします。

IIA は、期限内に提出された異議申し立てのリクエストを検討および調査した上で、最終決定した内容を電子メールで通知します。

別表 B

役立つリンク（英語サイト）

IIA 国際本部	https://www.theiia.org/en/
IIA プライバシーポリシー	https://www.theiia.org/en/Privacy-Policy/
IIA 会員制度	https://www.theiia.org/en/membership/
IIA 認定資格	https://www.theiia.org/en/certifications/
IAP	https://www.theiia.org/en/certifications/iap/ (日本内部監査協会による受付業務は終了しました)
CIA	https://www.theiia.org/en/certifications/cia/
CRMA	https://www.theiia.org/en/certifications/crma/
CCMS	https://ccms.theiia.org/
特別措置申請	https://www.theiia.org/globalassets/documents/certifications/iaa-accommodations-application.pdf
倫理綱要	https://www.theiia.org/en/standards/2024-standards/future-of-the-ippf-evolution/ethics-and-professionalism/
CBT チュートリアル	https://www.theiia.org/en/certifications/currently-enrolled/certification-online-testing/cbt-exam-tutorial/
倫理事案手続き	https://www.theiia.org/globalassets/documents/content/tools/ethics-case-procedures.pdf
受験言語	https://www.theiia.org/en/certifications/currently-enrolled/exam-language-offerings/
試験セキュリティ	https://www.theiia.org/en/certifications/currently-enrolled/exam-security/
支払方法	https://www.theiia.org/en/pages/payment-options/

ピアソン VUE	www.pearsonvue.com/iaa
ピアソン VUE カスタマーサービス	http://www.pearsonvue.com/iaa/contact/
学習参考図書・資料	https://www.theiia.org/en/certifications/currently-enrolled/exam-preparation-resources/
認定資格更新	https://www.theiia.org/en/certifications/already-certified/cpe-requirements/
ソーシャルメディアおよびバッジ	https://www.theiia.org/en/certifications/already-certified/social-media-and-badging/
資格の公開登録	https://www.theiia.org/en/certifications/certification-registry/
認定状フレームワーク	https://www.diplomaframe.com/iaad

別表 C

秘密保持契約および一般利用規約

試験を開始する前に、以下の諸条件をお読みいただき、同意いただく必要がございます。同意いただけない場合は、試験は失効し、受験料の払い戻しはできませんのでご注意ください。試験日までに、以下の諸条件をよくお読みください。

私は、この秘密保持契約および一般利用規約を含む IIA の規則を遵守し、これに従うことに同意します。

私は、IIA の試験が機密かつ安全であり、米国およびその他の国の民法および刑法によって保護されていることを理解しています。試験は機密であり、著作権法によって保護されています。

私は、試験に出題される可能性のある有効な設問にアクセスしたことはありません。設問内容については、いかなる第三者とも共有しないことに同意します。

私は、受験前、受験中、受験後を問わず、口頭、書面、インターネット上のチャットルーム、掲示板、フォーラム、SMS、書類、その他の形式で、試験の設問または解答の全部または一部を記録、コピー、公開、編集することはいたしません。

私は、IIA の倫理規範の違反、不正行為、違反に伴う手数料、ポリシー、スコアの無効化などを含む、IIA の認定資格受験者ハンドブックに記載されている利用規約を読み、これらを理解し、同意します。

私は、IIA の判断において、何らかの理由で得点の妥当性に疑問を投げかける正当な根拠がある場合には、IIA が試験結果の保留または無効にする権利を有することに同意します。

私は、この秘密保持契約に同意しない場合、受験が許可されず、また受験料も払い戻しがされないことを理解しています。

調査への参加：私は、必要に応じて内部監査人協会 (IIA) が実施するあらゆる調査に全面的に協力し、参加することに同意します。これには、真実かつ正しい情報の提供、インタビューへの出席、更には調査の過程で IIA から求められるその他の要求に従うことが含まれます。

別表 D

プログラムの認定要件

Internal Audit Practitioner™ (IAP™) 認定要件

(日本内部監査協会による受付業務は終了しました)

IAP の受験者は、認定要件、試験の機密保持、[IIA の倫理綱要](#) の遵守を含むプログラムの要求事項、および IIA の専門職資格審議会（PCB）が定めたその他の要求事項に同意しなければなりません。

IAP の申込要件は、有効な政府発行身分証明書の提出です。IAP の申込にあたり、身分証明書を提出し、IIA の資格部門担当者による承認を得なければなりません。

IAP の資格認定プログラムの有効期限は 2 年間です。プログラムの申請が承認された受験者は、資格認定プログラムの承認日から 2 年以内に IAP 試験に合格しなければなりません。

試験に合格すると、受験者には IAP の資格が付与されます。IAP の認定資格保持者は、[IIA の公開登録](#) に登録することができます。

IAP の認定資格保持者は、教育要件の適用なしに CIA の試験プログラムに申込みことができます。IAP が有効ではない場合、受験者は、CIA 認定資格プログラムの教育要件および実務経験を満たす必要があります。また、IAP を取得してから 4 年以内に CIA を受験した場合、IAP が有効な場合に限り、パート 1 試験が免除となります。詳細については、[CIA 認定要件のウェブページ](#) をご参照ください。

公認内部監査人® (CIA®) 認定要件

CIA の認定資格プログラムの受験者は、各認定要件、試験の機密保持、IIA の倫理綱要の遵守、CPE（継続的教育制度） の履行、および IIA の専門職資格審議会（PCB）が定めたその他の要求事項に同意しなければなりません。

CIA 受験者が、CIA に認定されるためには、以下の受験申込時および認定時の各要件を満たさなければなりません。（求められる実務経験年数は、以下の表に示すように、受験者の学歴に基づいています。）

申込要件	合格要件	認定要件
修士号 *	CIA の受験資格があります。必要な実務経験を取得する前に試験を受けることができます。 認定を受けるには、3 つの試験にすべて合格する必要があります。	1 年間の内部監査経験 (または同等の実務経験)
学士号 *	CIA の受験資格があります。必要な実務経験を取得する前に試験を受けることができます。 認定を受けるには、3 つの試験にすべて合格する必要があります。	2 年間の内部監査経験 (または同等の実務経験)
有効な IAP 認定資格保持者	CIA の受験資格があります。必要な実務経験を取得する前に試験を受けることができます。 認定を受けるには、3 つの試験にすべて合格する必要があります。但し、IAP を取得してから 4 年以内に CIA を受験した場合、パート 1 は免除されます。	5 年以上の内部監査経験 * (または同等の実務経験)
5 年以上の内部監査経験 * (または同等の実務経験)	CIA の受験資格があります。 認定を受けるには、3 つの試験にすべて合格する必要があります。	追加の経験は必要ありません。

* または同等の資格

* 必要な経験年数 5 年のうち 2 年は直近の過去 3 年以内であること

受験者は試験申込の承認にあたり、すべての申込要件（学歴証明の証拠書類、および身分証明書）を提出し、IIA の資格部門担当者による承認を得なければなりません。資格認定プログラムの申込が承認されると、受験者は資格認定プログラムの承認日からすべての認定要件を満たすまでに 3 年間の有効期限が付与されます。

大学の学位または有効な IAP 認定資格を保持する受験者は、資格認定プログラムに申込み、必要な業務経験の証明を提出する前に各パート試験を受験することができます。ただし、3 年間の試験プログラム有効期限内に内部監査実務経験の要件が満たされない限り、認定はされません。CIA 資格認定プログラムに関するより詳しい情報は [IIA のウェブサイト](#) をご参照ください。

同等の実務経験

以下の分野における実務経験は、内部監査の実務経験と同等とみなされます：

- 品質保証業務
- リスク管理業務
- その他の監査または評価実務
- コンプライアンス業務
- 外部監査業務

公認リスク管理監査人® (CRMA®) 認定要件

CRMA の試験プログラムの受験者は、各認定要件、試験の機密保持、IIA の倫理綱要の遵守、CPE（継続的教育制度）の履行、および IIA の専門職資格審議会（PCB）が定めたその他の要求事項に同意しなければなりません。

CRMA 受験者が CRMA に認定されるためには、以下の受験申込時および認定時の各要件を満たさなければなりません。

申込要件	合格要件	認定要件
修士号 *	CRMA の受験資格があります。必要な実務経験を取得する前に試験を受けることができます。 認定を受けるには、試験に合格する必要があります。	1 年間の内部監査経験 (または同等の経験)
学士号 *	CRMA の受験資格があります。必要な実務経験を取得する前に試験を受けることができます。 認定を受けるには、試験に合格する必要があります。	2 年間の内部監査経験 (または同等の経験)
有効な IAP 認定資格保持者	CRMA の受験資格があります。必要な実務経験を取得する前に試験を受けることができます。 認定を受けるには、試験に合格する必要があります。	5 年以上の内部監査経験 * (または同等の経験)
5 年以上の内部監査経験 * (または同等の経験)	CRMA の受験資格があります。 認定を受けるには、試験に合格する必要があります。	追加の経験は必要ありません。

* または同等の資格

* 必要な経験年数 5 年のうち 2 年は直近の過去 3 年以内であること

受験者は試験申込の承認にあたり、すべての申込要件（学歴証明の証拠書類、および身分証明書）を提出し、IIA の資格部門担当者による承認を得なければなりません。

CRMA の資格認定プログラムの有効期限は 2 年間です。受験者は資格認定プログラムの承認日からすべての認定要件（CRMA 試験の合格および必要な実務経験の証明）を満たすまでに 2 年間の有効期限が付与されます。

CRMA の資格認定プログラムに関するより詳しい情報は [IIA のウェブサイト](#) をご参照ください。

同等の実務経験

以下の分野における実務経験は、内部監査の実務経験と同等とみなされます：

- 品質保証業務
- リスク管理業務
- その他の監査または評価実務
- コンプライアンス業務
- 外部監査業務
- 内部統制業務

内部監査人協会（IIA）は、米国フロリダ州レイクメリーに国際本部を置く内部監査の国際的な専門団体です。約 25 万人の会員を擁する IIA は、内部監査専門職のグローバルな発言力、認知された権威ある提唱者であり、また内部監査に関する指導的役割を担っています。

世界中に 20 万人以上の IIA 認定資格保持者がいます。国際的な資格認定プログラムに加え、IIA の会員には、各国および地域の国際的専門職同士のネットワーク、国際レベルの研修プログラム、基準・ガイダンス、調査活動、指導者育成、キャリア提供などの会員サービスや、IIA Quality Services, LLC のリソースなどが提供されます。



グローバル本社
グリーンウッド・ブルバード 1035、スイ
ート 401